

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(21年12月分)

1. 調査実施期間 平成21年 11月20日 ~12月10日

### 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

12月分の回答企業数は42社、回収率は91.3%である。

### 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		21/12月	22/1月	2月
仕入動向	国産材	△ 21.2	△ 19.7	△ 12.5
	外材	△ 21.8	△ 14.1	△ 18.4
販売動向	国産材	△ 27.3	△ 27.3	△ 20.3
	外材	△ 24.4	△ 32.1	△ 26.3
在庫動向	国産材	△ 15.2	△ 15.2	△ 12.5
	外材	△ 17.1	△ 18.4	△ 25.7

仕入は、国産材、外材とも大きなマイナスを若干縮めるが、深刻な状況は変わらず。

販売も大きなマイナスがほぼ横ばいで、年明け後も全く不振。

在庫は国産材、外材とも大きなマイナス基調に変わりない。

荷動き動向全ての項目で年明け後も大きなマイナスと、全てで期待を喪失している。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	21/12月	22/1月	2月
スギ正角(グリーン)	△ 6.5	△ 4.3	0.0
スギ正角(KD)	△ 7.1	△ 4.8	△ 2.5
ヒノキ正角	△ 6.5	△ 6.5	△ 4.5
ヒノキ土台角	△ 14.6	△ 8.3	△ 6.5
米ツガ正角(現地挽)	△ 2.1	△ 6.3	△ 6.3
米ツガ防腐土台角	0.0	△ 2.1	0.0
米ツガ割物(現地挽)	2.1	△ 4.2	△ 2.2
米マツ平角	△ 8.3	△ 6.3	△ 6.5
北洋アカマツタルキ(現地挽)	△ 6.3	△ 6.3	△ 4.3
ホワイトウッド集成管柱	2.1	2.1	△ 2.2
レッドウッド集成平角	△ 5.6	△ 2.8	△ 2.8
型枠合板(国産)	△ 13.3	△ 6.7	△ 3.3
型枠合板(輸入)	△ 17.5	△ 7.5	0.0
針葉樹合板	△ 42.5	△ 15.0	△ 2.6

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角、土台とも小さなマイナス、ゼロへと回復基調か。

米ツガ正角マイナス大きくして弱含み。防腐土台角、割物ゼロ、小さなマイナスとほぼ保合での推移。

米マツ平角はマイナス基調で横ばい。北洋材アカマツタルキも同様。

WW集成管柱は小さなプラスから小さなマイナスへ、RW集成平角は小さなマイナスへ、ともに横ばい変わらず。

型枠合板、針葉樹合板とも大きなマイナス一気に縮めて、ゼロ、極めて小さなマイナスと先行き回復急である。

1. 荷動き		コメント
仕入動向		米マツ一般材丸太では、米国の住宅着工数が再び落ち込んだため、伐採量は減少しており、米国材、カナダ材とも現地在庫は少ない。米国材輸出価は11月積みも据置き置かれた様子だが、カナダ材は中国向け、韓国向けが好調なため、オールド、セカンドグロスとも値を上げた。スプルス丸太は伐採量が少なく、現地も強姿勢を崩していない。(東京:米材問屋) 当社メインのツガ、マツともに現地からのオファー量が減少している。(東京:米材問屋) 円高のより一時的に仕入れ価格が下がったが、産地側の高唱えに結局は変わらず。(東京:米材問屋)
		先月同様、納期遅れが目立つ。(東京:南洋・中国材問屋) 大径木や特殊材は原木価格が高い。(東京:特殊材問屋) 売上が減少すると思うので在庫を減らす。仕入れも当然減らす。(東京:外材集成材問屋) 11月、12月と販売不振のため仕入れ減少。(東京:外材問屋) 産地通貨もドル安のために相変わらず強い。中国、韓国の買いが強く日本向けの意欲感じられない。(東京:南洋・中国材問屋) 荷物は増えない。長期優良住宅向けのヒノキ製品が出ているため、集めにくい品物がある。(東京:国産材問屋) 荷動き少なく極力必要な物以外は仕入れ控えている。(東京:国産材問屋) 為替動向により調整。(東京:国産材問屋) 荷動き悪し。(東海:国産材問屋) プレカット工場の仕事量は10月をピークにやや減少。例年通り1-2月の荷動きは低調になると思われる。在庫は横ばい。(東海:外材問屋)
販売動向		京浜マーケット米マツ一般材丸太では、仕事減からメーカーの廃業予備軍が増えており、このままの市況が続く限り、京浜への丸太入荷の意義が問われる厳しい状況に追い込まれている。(東京:米材問屋) 10月がピーク、11月は前月比10%ダウン、12月も11月並と思われる。(東京:米材問屋) スギ構造材の不振深刻。KD間柱に堅調な動き。(東京:国産材問屋) 家具関連に力強さなし。(東京:国産問屋) 入荷減も円高による値下げ要求に抗しきれず、さりとて下げるほどの量もなく、綱引き状況である。(東京:米材問屋) 急ぎの見積り注文は増えてきたが価格は厳しいまま。(東京:南洋材問屋) 12月に入って一段と販売不振の感あり。(東京:外材問屋) 売行きは良くない。(東京:国産材問屋) 年末になり若干仕事は出てきているが、まとまった仕事は少ない。納期単価ともに厳しい仕事が多い。(東京:南洋・中国材問屋) 12月から売上減少すると思われる。1-2月は特にひどいと思う。(東京:国産材問屋) 無節材の注文は少なく一等材が多い。(東京:国産材問屋) 秋需期だけにさすがにいくらか動きが。(東京:国産材問屋) 秋需は完全に不発。造作材の注文はあるが、小出しで細かい。厳しい冬が続くそうです。(東京:国産材問屋) 新築木造住宅もあったが、基本はマンション改修で下地材とベニヤ、耐火ボードだけの販売が主体になった。(東京:仲買小売) 既に年末。11月後半多少動いた気配を感じたが、結果は線香花火程度。(東京:仲買小売) 21年の新築着工戸数が70万戸台なら、現状の荷動きは普通と言わざるを得ないのか。(東京:仲買小売) 全く売れない。さらなるスリム化、在庫減。固定資産税対策として倉庫を駐車場にし、不動産収入にする。(東京:仲買小売) 創業以来かつてない荷動きの悪さ。この状態が続くと来年、木材業界でも廃業が増えるだろう。(東海:仲買小売) 住宅建設、今年は暗いトンネルの中でした。来年に期待。(大阪:仲買小売)
		京浜港へは、12月に米マツ丸太中心に本船一杯の入荷が予定されているため、12月は問屋の手持ち在庫が相当数積み増しされる。(東京:米材問屋) ほとんど入荷が無く、在庫の漸減傾向は変わらない。(東京:米材問屋) 常時少なめにしている。(東京:米材問屋) 入荷少なく、在庫はかなり減っている。新規契約も出来ない事から、当面在庫は減少すると思われる。(東京:南洋・中国材問屋) 先高観がなくなって在庫積み増し意欲がない。(東京:外材問屋) 在庫をおさえる。(東京:国産材問屋) 埠頭の在庫もかなり減ってきている。新規入荷も少しはあるが在庫が増えたとの感は全く無い。(東京:南洋・中国材問屋) あまり仕入れず在庫少ないが大勢に影響なし。(東京:国産材問屋) 需要不振で在庫はギリギリ。(東京:国産材問屋) 木が良くなったので在庫を増す予定。(東京:国産材問屋) 相変わらず在庫減少したまま。その都度必要材は必要量だけ仕入引取りに動かなければならない。(東京:仲買小売) 内地挽きアカマツグリーン材 常時使用製材所分を、生産を打ち切りのため全量買い取ったので増えた。(大阪:仲買小売)
2. 価格動向		
スギ正角	KD材の要求がほとんどである。(東京:問屋) 構造材不振。(東京:問屋) スギ・ヒノキは低調。(東海:問屋) 先の見通しがわからない。(東京:仲買) 川上では原木丸太出荷順調だが川下は需要不足、価格は動かず。(東京:仲買)	
ヒノキ正角	原木高、製品安、特に動きなし。(東海:問屋)	
土台角		
米ツガ	米ツガKD割物は、入荷減のため流通過程では上がっているが、最終末端価格は据置強保合い。(東京:米材問屋)	
米マツ平角	無風です。(東京:問屋)	
北洋アカマツタルキ	米マツともに特に動きなし。(東海:問屋) A材入荷順調だが価格は横ばい。B材価格がやや下落の状態。(東京:仲買)	
WW・RW集成材	柱・平角とも現地挽製品入荷少なく、国内メーカーもかなりラミナー手当てが少ないため、ジリジリ上がると思われ 上昇するかと思われたが、販売不振で値上げ話はなくなった。(東京:問屋) メーカーは値上げしたいが需要減のため値上げは出来ないと思う。(東京:問屋) 一変し市況はかなり強気。輸入ラミナ材が入らず生産が間に合わず、受注を断るための単価になっている。ただ輸入製品との兼合いあり先は非常に厳しい。しばらく様子見。仕事はあまい中での市況転換は久しぶり。(東京:問屋) 入荷減でWW管柱がやや品薄。しかし価格上がらず。@/本1,550円前後。RWEW平角はほぼ横ばい。(東海:問屋)	
合板	針葉樹合板は売行き悪く@/枚600円を切る。(東海:問屋) 針葉樹合板はメーカーは今回の値下げ損失を次の値上げ時に取り戻せると、またそれまで自社が存続していると考えているのだろうか。(東京:仲買) 針葉樹合板はメーカーの減産緩和により在庫豊富。価格は下落の状態。(東京:仲買)	